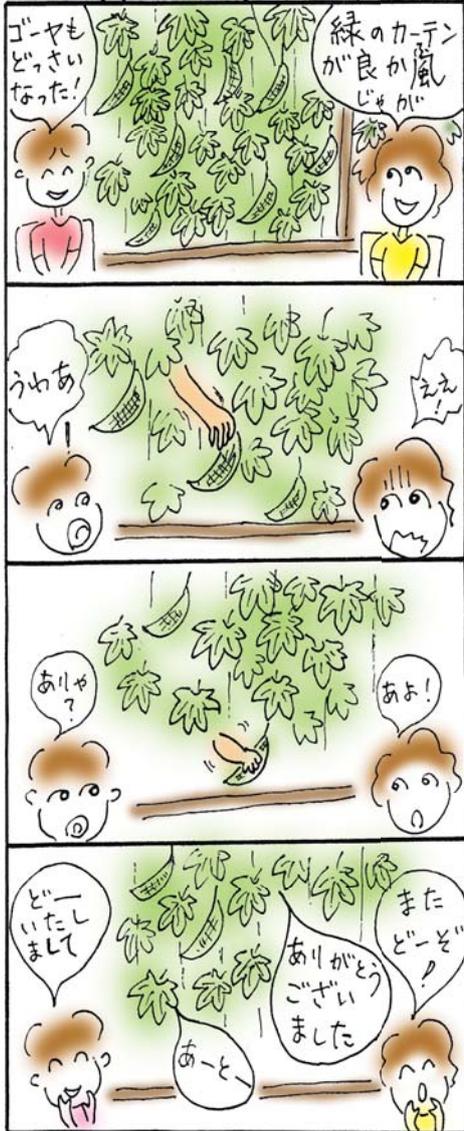


# ほろりん

## 170 緑のカーテン



まちを彩る七夕飾り

商工会の夏祭りと町の伝統行事『七夕祭り』を合同で再スタートさせる『第1回大崎七夕さあ』に向け、商工会員らは、8月4日に七夕の飾りつけを行いました。まちは、東北復興の願いが込められた短冊で彩られました。

### 今月の表紙

### 薩摩郷句

兼題「上手」

世渡いが上手ち出世を始まれつ

(唱) 実力じゃつち 認むごちや無し

諸木 小春

テレビ前上手な子役の芸に泣つ

(唱) 亭主もそらいと 手で目を拭つ

西ノ蘭ひらり

語り上手し口に乗つても詐欺ぎ嵌つ

(唱) 買わんな損ち 言う気ひんなつ

植村 昭子

軍歌ならカラオケ嫌れが上手じ歌とつ

(唱) 我で酔くろつ 張い上げつ居つ

諸木 美舟

上手じゃつち褒めたやマイク離させじ

(唱) 挨拶じゃつちが 判らんとじやろ

満石 江吟

### 大崎短歌会

雨上り国見の稜線くつきりと風力発電機十数  
基も見ゆ

児玉 チツ

グランドゴルフ大会前の忙しく歌がつくれぬ  
このもどかしさ

高瀬 睦子

紅八重のハイビスカスを確と掩し真夏の庭の  
明るさ願う

馬場みさ子

墨を磨る度思ひ出す教科書を墨にて消せし敗  
戦の日を

大和 てるみ

コスモスにぞつこんのわれ此の年も庭のあち  
こち自生してくれる

行騰 泰子

### 大崎俳句会

天の川短冊多し平和の字

折田 スズ

風立つや縫れ舞いゆく揚羽蝶

宮脇 洋子

曝書して母への手紙見つけたす

内村美恵子

夕虹や海を跨いでほかなる

坂元つる子

老の身の生きる張合ひ草むしり

益倉 睦美

湧水の溢れクレソンひかりけり

宮下 のし

### 人権啓発シリーズ⑱

## あなたの当たり前が、誰かを傷つけているかも。

～子どもの人権について考えるための『気づき』のヒント～

- 権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる。
- 大人の都合で『まだ子どもなんだから』『もう子どもじゃないんだから』と言ってしまふ。
- 大人は一人前、子どもはまだ半人前だと思う。
- 子どもは大人の言うことを聞くのが当たり前だ。

子どもが生きづらい背景には、私たち大人の身勝手な言動があるのではないのでしょうか。

『子どもだから』と決めつけてしまうのではなく、一人の人格を持った人間として接していくことが必要です。